

学年	3学年		教科 目標	学 習 内 容		評価規準及び評価方法	
教科	理科						
月	課	単元名	時数				
4		生命の連続性	16	第1学年「植物の世界」および、第2学年「動物の世界」での学習をもとに、植物と動物を総合的にとらえ、細胞のレベルで見た生物の多様性と共通性および生命の連続性についての理解をはかる。	【自然事象への関心・意欲・態度】 自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探求するとともに、事象を人間生活との関わりで見ようとしているか。 〈評価方法〉 授業中における考察 (発表・態度・ベル着・忘れ物等) 提出物		
5							
6		地球と宇宙	23	身近な天体観測の観察記録や資料をもとに、地球の自転や公転運動、太陽系の特徴と構造、太陽をはじめとする恒星と銀河系や銀河の特徴を通し、宇宙のひろがりについて認識を深める。	【科学的な思考】 自然の事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして問題を解決しようとしているか。 〈評価方法〉 定期テスト、授業中の発言 等		
7							
9		化学変化とイオン	27	化学変化についての観察についての観察、実験を通して、水溶液の電気伝導性や中和反応に理解させるとともに、これらの事物・事象をイオンのモデルと関連付けてみる見方や考え方を養う。	【観察・実験の技能・表現】 観察・実験の基本操作を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探求する方法を身につけ、それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できるか。 〈評価方法〉 定期テスト、観察・実験プリント(レポート)、観察・実験中における考察 等		
10							
11		運動とエネルギー	33	物体の運動やエネルギーに関する観察、実験を通して、物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解させるとともに、日常生活や社会と関連付けて運動とエネルギーの初歩的な見方や考え方を養う。	【自然事象についての知識・理解】 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけているか。 〈評価方法〉 定期テスト等		
12							
1		自然と人間	24	自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解させるとともに、自然と人間のかかわり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。			
2							
3		3年間の復習	17	中学校3年間で学習した内容を復習し、理解を深める。			
			140	合計授業時間数			